

様式1

平成27年度教育委員会予算見積総括表

一般会計

平成27年度予算見積額	25,327,292 千円
平成26年度当初予算額	19,691,000 千円
差引増減額	5,636,292 千円
対前年度比率	128.6 %

高等学校等奨学金特別会計

平成27年度予算見積額	409,500 千円
平成26年度当初予算額	434,995 千円
差引増減額	-25,495 千円
対前年度比率	94.1 %

土地取得事業特別会計

平成27年度予算見積額	74,818 千円
平成26年度当初予算額	76,162 千円
差引増減額	-1,344 千円
対前年度比率	98.2 %

(注)上記には、人件費を含まない。

一般会計における増額の内訳

◆総括表

単位:千円							
H26		H27		差額		前年比(%)	
金額	(一)	金額	(一)	金額	(一)	金額	(一)
19,691,000	7,607,059	25,327,292	10,032,371	5,636,292	2,425,312	128.6%	131.9%

※人件費除く

◆主な増減項目

単位:千円

区分	事業項目名	H26		H27		差額		備考
		金額	(一)	金額	(一)	金額	(一)	
ハード 整備 関連	1 新図書館等複合施設建築等工事請負費	1,901,757	127,539	4,703,886	220,920	2,802,129	93,381	建築工事請負費の増額
	2 青少年センター本館及び宿泊棟改築工事	0	0	594,229	60,229	594,229	60,229	工事期間:H27~H28 ※H26実施の耐震設計はH25繰越予算
	3 スポーツ施設改修事業費	13,326	1,884	389,474	92,993	376,148	91,109	・県立武道館(本館)耐震補強等工事 ・県立武道館分館耐震補強工事設計
	4 中部教育事務所耐震等工事請負費	9,619	8,371	253,429	64,230	243,810	55,859	中部教育事務所の耐震化に係る費用 H26耐震設計→H27改修工事
						0	0	
	ハード計	1,924,702	137,794	5,941,018	438,372	4,016,316	300,578	
ソフト 関連	5 高等学校等就学支援金事業費	625,980	94,974	1,222,587	186,459	596,607	91,485	H26から始まった就学支援金事業の必要経費 H26支給対象:1学年 →H27支給対象:1,2学年
	6 高校再編推進費 (【新】グローバル教育推進事業)	3,100	3,100	106,137	99,928	103,037	96,828	南、西高校でのグローバル教育推進に必要な経費
	7 【新】オリンピック・パラリンピックムーブメント推進事業費	0	0	25,789	9,432	25,789	9,432	2020オリパラ東京大会を契機としたスポーツ推進プロジェクト(事前合宿招致等)
						0	0	
	ソフト計	629,080	98,074	1,354,513	295,819	725,433	197,745	
	増額計	2,553,782	235,868	7,295,531	734,191	4,741,749	498,323	

平成27年度教育委員会予算のポイント

一般会計予算額
 H27見積：253億円（人件費除く）
 【H26当初：197億円（人件費除く）】

☆計画の最終年度となる『高知県教育振興基本計画 重点プラン』の目標達成に向けた取組を推進します。

☆高等学校再編振興計画の着実な推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたスポーツ振興など、将来を見据えた取組を進めるとともに、厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実を図ります。

☆子どもたちの“命を守り、命をつなぐ”ための南海トラフ地震対策を推進します。

- 知** 小学校の学力は全国上位に、中学校の学力は全国平均まで引き上げる
徳 児童生徒の自尊感情を育むとともに、社会性、規範意識を高める
体 小・中学校の体力、運動能力を全国平均まで引き上げる

重点プランの「目標」
 （～H27）

学力・体力のさらなる向上に向けた取組

◆小中学校の学力向上に向けた取組 p4

- 学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,444千円
- 算数・数学学力向上実践事業 3,555千円
- 拡** ○ことばの力育成プロジェクト推進事業 124,928千円
- NEW** ○英語教育推進プロジェクト事業 59,198千円

NEW ◆スポーツ推進プロジェクトの推進～2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたスポーツ振興～ p6

- 体育・健康アドバイザー支援事業 5,812千円
- 運動部活動競技力向上サポート事業 10,929千円
- 競技スポーツ選手育成強化事業 91,925千円
- スポーツトータルサポート事業 4,809千円
- スポーツを通じたエリアネットワーク事業 9,633千円

NEW ◆探究型学習の推進 p5

- 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 13,299千円
- グローバル教育推進事業 106,137千円

厳しい環境にあり様々な課題を抱える子どもたちへの支援

高知県の将来を担う子どもたちの育成に向けて、「高知家の子ども見守りプラン」やいじめ防止対策を着実に推進するとともに、基礎学力の定着に課題のある子どもたちへの学習支援や経済的支援、相談体制を充実・強化することにより、厳しい環境にあり様々な課題を抱える子どもたちへの支援の充実を図る。

◆子ども見守りプランの推進 p7 ◆いじめ防止対策の総合的な推進 p8

◆厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実 p9

□教育相談体制の充実

- 拡** ○スクールカウンセラー・心の教育アドバイザー等の配置拡充 184,911千円
- 拡** ○スクールソーシャルワーカーの配置拡充 76,583千円

□学習支援の充実

- NEW** ○習熟度別学習等について研究を進める学校の指定
- 拡** ○学習支援員(高等学校)の配置拡充 8,056千円
- 拡** ○放課後等における学習支援の充実

□教育費負担の軽減

- 拡** ○高等学校等就学支援金事業 1,222,587千円
- 高等学校等奨学金貸付事業 409,500千円

学校等における南海トラフ地震対策 p11

南海トラフ地震から“子どもたちの命を守り、命をつなぐ”ため、学校施設等の耐震化や保育所等の高台移転などの対策を促進するとともに、防災教育を徹底する。

- 県立学校施設の耐震化 3,921,042千円
- 公立小中学校の耐震化 233,480千円
- 保育所・幼稚園の耐震化 696,576千円
- 保育所等の高台移転に伴う施設整備への補助 668,162千円
- 防災教育推進事業 16,502千円

非常口



地域と学校が絡ぐみで子どもたちを育む取組 p10

ユニバーサルデザインによる授業改善や開発的な生徒指導などの課題解決型の効果的な取組とともに、地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制づくりを進め、地域と学校が絡ぐみで子どもたちを育む取組の定着を図る。

- 拡** ○地域をつなぐ！子どもが伸びる！ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト 8,779千円
- 拡** ○高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 8,204千円
 - ・志育成型学校活性化事業 5,256千円
- NEW** ○未来にかがやく子ども育成型学校連携事業 2,948千円
- 拡** ○学校支援地域コミュニティ活性化事業 41,634千円
- 拡** ○放課後子ども総合プラン 546,021千円

つながり



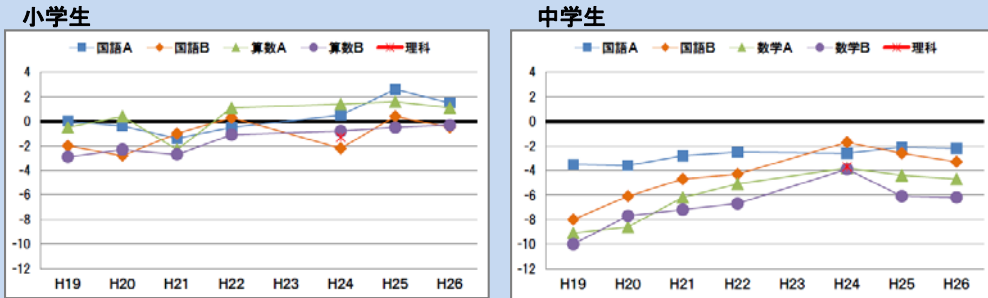
県立高等学校再編振興計画の推進 p12

学力向上に向けた取組

小中学校課・教育センター

現状

全国学力・学習状況調査結果(全国と本県の平均正答率の差)から



H27目標

小学校の学力は全国上位に
中学校の学力は全国平均まで引き上げる！

小学生は、すべての教科で改善傾向にある
中学生は、改善傾向にあるが全国平均には達していない。特に、B問題に対応する力に課題がある

児童生徒の思考力や表現力の育成

さらなる学力向上を目指して！

学力向上のPDCAサイクルの構築



取組

学校経営力の向上

学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,444千円

- 各小中学校で中期的な視野に立った「学校経営計画」の作成
- 学校経営アドバイザー(7名)による学校への支援
- 中学校学力向上推進校への支援訪問(18校指定)の実施

児童生徒の学力定着状況の把握

高知県学力定着状況調査実施事業 30,176千円

児童生徒の学力定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善を行う。

- 【小学校第4学年】国語・算数 【小学校第5学年】国語・算数・理科
- 【中学校第1・2学年】国語・社会・数学・理科・外国語

調査実施日
平成28年1月12日(火)

全国学力・学習状況調査

- 【小学校第6学年】国語・算数・理科
- 【中学校第3学年】国語・数学・理科

調査実施日
平成27年4月21日(火)

授業の質・教科専門力の向上

NEW

探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 13,299千円

- 各教科との連携を図った総合的な学習の時間の研究と実践(指定校:中5校)
- 各教科における探究的な学習(授業づくり)の研究と実践
- ICTを活用した授業研究

NEW

英語教育推進プロジェクト事業 59,198千円

- 外国語教育の中核となる「コア・ティーチャー」の育成(年間20名程度)やコア・スクールの充実(小4校、中4校)
- 英語学習への意欲の向上に向けた教材の作成・指定校(15校)での電子黒板の効果的活用
- 早期英語教育の地域拠点モデルの構築
- 小学校外国語活動の教科化を見据えた集合研修やe-Learning研修の実施
- 中高英語教員の専門力向上のため、英語授業力向上研修やe-Learning研修の実施
- 土佐教育研究会や高等学校教育研究会との連携によるブロック別研修の実施

高知県英語教育推進のためのガイドラインに基づく取組の充実



拡 ことばの力育成プロジェクト推進事業 124,928千円

- 全国学力・学習状況調査のB問題で求められる児童生徒の思考力や表現力の向上
- 国語課題克服指導資料集の作成及び活用・中学校国語授業改善研修の開催
 - 各教科等における思考力や表現力の向上・学校図書館活動の充実
 - NIE活動の推進・国語学習シートの活用・指定校21校(重点校3校、推進校18校)

理科教育推進プロジェクト 6,788千円

- 理科の中核教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成(年間10名程度)
- CST活動の充実〔拠点校8校(小3校、中5校)〕
- 科学の甲子園ジュニア(中学生部門)の実施
- 理科支援員配置事業の実施・理科思考力問題集の活用



算数・数学学力向上実践事業 3,555千円

- 授業改善プランに基づく支援訪問の実施・数学思考力問題集、数学B問題集の活用
- 単元テストや算数・数学シートの活用・算数・数学思考オリンピックの実施
- 採用10年未満の中学校数学教員を対象に教育センターで半年間の研修を実施
- 教科ミドルリーダー認定者を対象に4日間の合宿研修を実施
- 中堅教員を対象に地域実践研修を実施



Up!!

授業力向上

中学校段階から生徒の主体性や課題解決能力を育成するため、**意欲的に探究的な授業づくりに取り組む中学校を公募により選定して、その実践研究の過程や成果を他校へ普及していくことにより、中学校の授業の質を高め、生徒の学習意欲や思考力、表現力を高めていく。**

また、郷土を愛し、その発展に貢献できる人材や高い志をもち高知から世界へチャレンジできるグローバル人材の育成を図るため、**高知南中学校・高等学校と高知西高等学校をグローバル教育の推進校とし、グローバル教育プログラム（探究型学習）と英語教育プログラムを開発・実践して、その成果を県内の県立高等学校に普及することで、本県の地域振興や産業振興に資する人材の育成を図る。**また、先導的な学校づくりを進めるため、国際バカロレア認定に向けた取組を推進する。

期待される効果

- 中学校段階において、生徒の学習意欲や思考力・表現力を育成し、全国平均まで学力を引き上げる。
- 生徒の論理的思考力や判断力、表現力を育成し、英語運用能力を高めることで、将来、本県の地域振興や産業振興を担う人材の育成につながる。また、国公立大学や難関大学などの生徒の進路実現を支援できる。

現状・課題

- 中学校段階において、ねらいを明確にした指導や探究の過程を意識した指導が十分行われていない。
- 少子高齢化やグローバル化の進行など、社会や経済の姿が大きく変貌している。
 - ・小学校5年生から英語が教科化（H32年度）
 - ・知識だけでなく、思考力や表現力等を問う大学入試制度へ（H32年度実施を検討中）
 - ・自ら学び判断できる若者、産業振興や地域振興を担っていく人材への期待

事業目標

- 中学校段階において、生徒が主体的に探究的な学習に取り組む学校を構築し、その実践を県内に普及する。
- グローバル教育プログラム（探究学習）と英語教育プログラムを開発・実践し、その成果を県内の県立高等学校に普及する。

実施内容

NEW

1 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 13,299千円（一）13,299千円（小中学校課）

教科や総合的な学習の時間において教員が協同して意欲的に探究的な授業づくりに取り組む中学校を指定（5校：委託費1校2,000千円以内）

県教育委員会

- ・指導、助言
- ・成果の普及
- ・手引きの作成、普及
- ・教員の大学院への派遣

学校・市町村教育委員会

- ・各教科との関連を図った総合的な学習の時間の研究と実践
- ・各教科における探究的な学習の研究と実践
- ・ICTを活用した授業研究
- ・地域との連携
- ・小中系統的なカリキュラムの作成
- ・県立高知南中学校の研究授業への参加

中学校の取組

NEW

2 グローバル教育推進事業 106,137千円（一）99,928千円

グローバル教育推進委員会

推進校

（高知南中高校・高知西高校）

問題解決能力の育成

- ・グローバル教育プログラム（課題研究、探究型学習）の試行
- ・ICTを活用した教育環境の充実とカリキュラムの実践（Wi-Fiシステム、タブレットPCの整備）
- ・課題研究発表会の開催
- ・連携先での学習活動の実施
- ・英語教育プログラムの実践、検証

思考力の育成

コミュニケーション能力の育成



- ・グローバル教育フォーラムの実施
- ・国際バカロレア認定の研究
- ・海外留学への支援「羽ばたけ世界へ留学支援事業」

県立中・高等学校の取組

（高等学校課）

実践可能な取組を順次普及

すべての県立高等学校

※探究型学習…一般教科において、生徒と教員とのやりとりや、生徒同士で討議しながら進める授業形態の学習

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が決定したことにより、全国でスポーツに対する関心が高まり、さらに今後、国では選手育成をはじめスポーツを通じた様々な取組が強化される。この機会をとらえ、県民がスポーツ活動に親しみやすい環境を整えるとともに、オリンピック・パラリンピックや国民体育大会等で活躍する選手を本県から輩出することも見据えて、本県の子ども達の「夢」や「志」を育みながら、体力・運動能力の向上につながるスポーツの裾野の拡充からトップ選手のさらなる競技力向上までを一体的にとらえた施策を推進する。

1 体育授業の充実

◆運動好きの子どもを増やすために小中学校の体育授業の充実を図る
★こどもの体力向上支援委員会の設置

1. 体育・健康アドバイザー支援事業【5,812千円】 **新**

◆体力調査等で明らかになった体力問題の課題を解決するため、体育授業や体育的活動の改善を目的として小中学校にアドバイザー2名を派遣

2. こうちの子ども体力向上支援事業【3,816千円】 **新**

◆小学校の体育授業における副読本の活用及び体力向上に向けた課題対策

- ①副読本の検証・活用
- ②支援委員会による体力向上対策の策定

3. 運動部活動競技力向上サポート事業 **組替** 【10,929千円】

◆公立中学校及び県立高等学校の運動部活動に指導力のある外部人材を派遣



2 多様なアスリートライフスタイルの支援

◆競技団体の組織力向上や指導者のレベルアップに向けた支援の徹底
◆優秀な選手の発掘・育成の体制づくり
★競技力向上プロジェクトチームの設置

◆競技別育成強化計画の作成をはじめ、下記に示す競技力向上の核となる取組を効果的に実施するために、トータルアドバイザーを中心とした県内外の有識者によるプロジェクトチームを設置。

1. 競技力向上総合対策事業

◆競技別一貫指導プログラムによる系統だった育成強化事業や指導力向上及び組織体制の充実を目的とした研修講座を実施

(1) 競技スポーツ選手育成強化事業【91,925千円】 **組替**

- ①競技力向上プロジェクトチーム会議
- ②基礎強化 ③特別強化選手支援
- ④障害者スポーツ選手強化 ⑤アドバイザー招聘
- ⑥一貫指導プログラムによる育成強化
- ⑦コーチアカデミー

(2) 中学生競技力向上対策事業【11,441千円】

- ①基礎強化 ②中3対策

2. ジュニア選手育成事業【5,135千円】 **拡**

◆優秀な小学生の発掘・育成 [*プログラム回数増] [*県外講師の活用増]

(1) キッズプログラム(小学4～6年生)

3. スポーツトータルサポート事業【4,809千円】 **組替**

◆スポーツ医・科学等を活用した各種サポート

(1) 競技力向上サポート事業

- ①パフォーマンスサポート ②メンタルサポート
- ③メディカルチェック ④専門体力測定
- ⑤トレーニングサポート ⑥栄養サポート

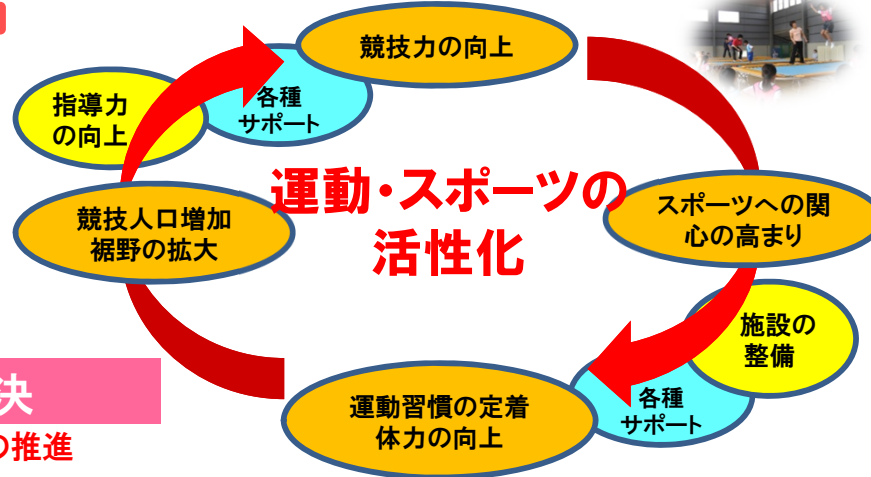
(2) 指導者サポート事業

- ①指導者研修講座 ②出張トレーニング指導

5 スポーツ施設の整備

◆競技拠点スポーツ施設等の整備

◆各競技の拠点となるスポーツ施設や学校のトレーニング設備など県内のスポーツ施設・設備を整備



3 エリアネットワークによる課題解決

◆エリアにおける関係者間の連携・協働による取組の推進

★ネットワーク会議の設置

1. スポーツを通じたエリアネットワーク事業【9,633千円】 **新**

◆市町村や総合型クラブ等が連携し、各地域でのスポーツ振興に関する課題解決に向けた会議等の開催を通して、エリア内ネットワーク化を図るとともに、エリアネットワーク計画(仮称)を策定し、地域の実態に応じたスポーツ振興を図る。

- ①ネットワーク会議(2ブロック各5回)
- ②アンケート調査
- ③地域課題の解決のための取組

- * 中山間・過疎地域における運動部活動対策
- * 働き盛りの年代のスポーツ実施率の向上対策
- * 高齢者・障害者のスポーツ参加対策 など

2. ジュニアスポーツチャレンジ事業【1,968千円】 **新**

◆エリアごとに小学生を対象として様々なスポーツ活動が一度に体験できるイベントの開催



4 スポーツを通じた地域活性化

◆国際交流やスポーツツーリズムの推進

1. 2015世界陸上北京大会事前合宿受入【6,506千円】 **新**

2. オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動【2,939千円】 **新**

3. オリンピック・パラリンピックムーブメント推進事業【16,344千円】 **新**

◆オリンピック・パラリンピックへの理解を図り、2020年東京大会の成功に向けた取組を推進

- ①学校の体育授業における啓発
- ②フォーラム ③学生対象のサミット
- ④ボランティア育成 ⑤スポーツ国際交流



「高知家の子ども見守りプラン」の推進（教育委員会）

事務局各課



高知家の子ども見守りプランに基づき、知事部局、教育委員会、警察本部が連携して少年非行の防止に向けた取組を進めていきます。

①非行を未然に防ぐ「予防対策」②非行の入口にいる子どもたちを向かわせない「入口対策」③立ち直りを支援する「立ち直り対策」の3つの対策を推進し、PDCAサイクルを回しながら、さらなる効果的な防止対策につなげ課題解決を図っていきます。

予防対策

入口対策

立ち直り対策

学校の組織的な取組の強化

生徒指導の充実

心を耕す教育の推進

発達への気になる子どもへの支援の充実

関係機関と連携した施策の強化

拡 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業

志育成型学校活性化事業 【5,256千円】

11中学校
統括アドバイザーによる助言等を通じて開発的な生徒指導を組織的に推進



NEW 未来にかがやく子ども育成型学校連携事業

2中学校区 【2,948千円】
指定地域の小中学校が連携し、開発的な生徒指導を小学校にも展開

薬物乱用・喫煙防止対策の強化に向けた教職員の研修会の開催

緊急学校支援チームの派遣
緊急事案発生時の専門家の派遣
【1,188千円】

生徒指導ハンドブックを生徒指導主事会、校内研修等で活用し、指導体制を強化

・生徒指導推進協力員・学校相談員の配置（9市町9人）
・生徒指導スーパーバイザーの配置（高知市6人）
【14,136千円】

学級づくりリーダー活用推進事業 【1,395千円】
学級づくりリーダーによる市町村全域での啓発の展開

校種間連携の推進

教育相談体制の充実

小中合同生徒指導主事（担当者）会の開催
【1,532千円】

拡 スクールカウンセラー・心の教育アドバイザー等の配置【184,911千円】
（270校→299校）
※うち2中学校に週5日配置
※うち2中学校区に小中連携配置

支援引き継ぎシートを用いた支援体制の確立

拡 スキルソーサラーの配置
【76,583千円】（42人→50人）

拡 ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト
【8,779千円】
（3中学校区→4中学校区）

巡回相談員派遣事業【1,342千円】
専門家チーム等による学校支援の推進

関係機関との連携による取組

- 非行防止対策ネットワーク会議
- 知事部局
- 県警本部
- 市町村
- 要保護児童対策地域協議会 など

小中学校におけるキャリア教育の推進【3,972千円】
道徳教育の推進【18,510千円】

学校図書館活動の推進（ことばの力育成70%以上推進事業）
【124,928千円】

親育ち支援啓発事業【1,492千円】
良好な親子関係構築への支援

NEW 特別支援保育専門職員の育成
保育士等の大学派遣に要する経費を支援 【9,429千円】

高等学校生徒支援コーディネーターを中心とした支援の充実 【412千円】

特別支援教育学校コーディネーターの研修及び支援引き継ぎシートの活用【520千円】

市町村に特別支援保育コーディネーターを配置 【9,408千円】

専門的な教員の養成（大学派遣）【7,131千円】
特別支援教育コースに6名派遣 など

医療・福祉・労働分野等と連携した個別的教育支援計画の作成への助言

拡 学校支援地域コミュニティ活性化事業【41,634千円】
地域社会全体で学校を支える仕組みづくりの推進

拡 放課後子ども総合プラン 【546,021千円】
放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実

補導教員の配置（高知市8人、他13市町村13人）及び非行少年への支援補導専門職員の配置（7町村7人）及び非行少年への支援【15,716千円】
少年サポートセンターへの教員の配置（5人）及び非行少年への立ち直り支援

NEW 幼児期から望ましい生活習慣を確立するために、パンフレットを作成し保育所等で学習会を実施【4,227千円】

「よさこい健康プラン」に基づく健康的な生活習慣の確立に向けた支援

拡 若者の学びなおしと自立支援事業 【26,095千円】
若者サポートステーションとの連携による就学・就労支援支援プログラムの活用と地域が連携した支援体制の構築

親子で考えるネットマナーアップ事業 【2,649千円】
携帯電話・スマートフォン等の利用実態調査、情報モラル教育の推進や保護者への啓発リーフレットの作成・配布

学校ネットパトロール事業 【4,182千円】

いじめ防止対策の総合的な推進

事務局各課

表：いじめの認知件数の状況
(国公立学校 1,000人当たり)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
高知県	3.7件	8.7件	6.9件
全国	5.0件	14.3件	13.4件

「高知県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応の両面から、いじめ問題等への総合的な取組を推進する。

未然防止

心を耕す教育の推進 開発的生徒指導の推進

□ 拡 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 (8,204千円)

- ・志育成型学校活性化事業 (11中学校)
- ・**NEW** 未来にかかやく子ども育成型学校連携事業 (2中学校区)

教育活動の中に生徒指導の視点を着実に位置づけ、PDCAサイクルに基づく開発的な生徒指導(子どもに内在する力や可能性を引き出す生徒指導)を組織的に推進

□ 小中学校におけるキャリア教育の推進 (3,972千円)

□ 道徳教育の推進 (18,510千円)

□ 学校図書館活動の推進 (124,928千円) (ことばの力育成プロジェクト推進事業)

□ 市町村のいじめ防止に向けた活動への支援 (836千円)

各学校における児童生徒の自主的ないじめの防止等の取組や、各市町村が実施するいじめ防止に向けた活動等を支援

教職員の資質能力の向上

- いじめ問題についての校内研修支援
- 生徒指導ハンドブックを生徒指導主事会、校内研修等で活用し、指導体制を強化
- 学級づくりリーダー活用推進事業 (1,395千円)
リーダーを活用した市町村全体の学級経営力の向上
- 人権教育推進リーダー育成事業 (517千円)
小・中・高・特別支援学校の教員11名を指定し、研究テーマに沿った研修を実施
- **拡** ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト 【3中学校区→5中学校区】 (8,779千円)

学校・家庭・地域・関係機関が 連携した取組の促進

- PTA人権教育研修への支援 (40千円)
PTAが実施する研修会を通じたいじめ問題についての保護者への啓発の推進
- **拡** 学校支援地域コミュニティ活性化事業 (41,634千円)
地域社会全体で学校を支える仕組みづくりの推進
- **拡** 放課後子ども総合プラン (546,021千円)
放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実

早期発見・早期対応

いじめの実態把握

- いじめアンケートの実施(年2回以上)

教育相談体制の充実

- **拡** スクールカウンセラー等活用事業 (149,978千円)
- **拡** 心の教育アドバイザー等活用事業 (34,933千円)
H26: 270校、全中学校配置(59人)
→H27: 299校、全中学校配置(69人)
- **拡** スクールソーシャルワーカー活用事業 (76,583千円)
H26: 25市町村、3県立中配置(42人)
→H27: 27市町村、3県立中、県立特支1校、
県立高5校配置(50人)
- 生徒指導推進事業 (14,136千円)
・生徒指導推進協力員・学校相談員(9市町9人)
・生徒指導スーパーバイザー(高知市6人)
- 24時間電話相談事業 (7,390千円)

緊急事案発生時の学校支援

- 緊急学校支援チームの派遣 (1,188千円)

ネット上のいじめ等への対応

- 親子で考えるネットマナーアップ事業 (2,649千円)
携帯電話・スマートフォン等の利用実態調査、情報モラル教育の推進や保護者への啓発リーフレットの作成・配布

- 学校ネットパトロール事業 (4,182千円)

市町村(学校組合)教育委員会、学校の取組への支援

厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実

事務局各課

家庭の経済状況や基礎学力の定着状況など、厳しい環境下あり、様々な課題を抱えている子どもたちに対して、学習支援や教育費負担軽減への支援、相談体制等を充実・強化するとともに、望ましい生活習慣の確立のための支援を実施します。

高知家の将来を担う 子どもたちの育成

学習支援の充実

NEW **学力定着に課題を抱える学校の学習支援に関する研究校の指定【小中学校課】**
基礎学力の定着状況に課題のある子どもへの学習支援として、個別指導や習熟度別学習のあり方について研究を進める学校を指定し、教員加配等の支援を行う

拡 **学習支援員（高等学校）の配置拡充【高等学校課：11,102千円】**

放課後や長期休業期間中に、基礎学力の定着状況に課題のある生徒への補力補習を行う

H26：延べ30人、900時間

H27：延べ90人、3652時間

放課後等における学習支援の充実【小中学校課・生涯学習課】

NEW 学校が計画的に行う補充学習の充実等のため、教員の指導を補助する学習支援員の配置に対して助成

・中学校の放課後等に大学生や塾講師等により放課後学習室での学習支援を行う市町村を助成（19市町村41校）

NEW 放課後学習での生徒配布用の問題集等の購入に要する経費に対して市町村を助成



拡 **地域をつなぐ！子どもが伸びる！ユニバーサルデザインによる**

学校はぐみプロジェクトの推進

【特別支援教育課：8,779千円】

配慮を必要とする児童生徒の指導及び支援を大切にしながら、どの子どもに対しても『分かる』『できる』授業づくりや授業改善を研究することで、学習の確かな理解と定着をもたらし、学力の向上が期待できる

教育相談体制の充実

拡 **スクールカウンセラー・心の教育アドバイザー等の配置拡充**

【人権教育課：184,911千円】

児童生徒や保護者が気軽に相談できる体制の充実を図るため、小学校へのスクールカウンセラーの配置を拡充する

また、高等学校においては学業不振や対人関係から中途退学につながるケースもあり、そうした生徒、保護者への相談体制を強化するため、心の教育アドバイザーの重点配置校を拡充する

H26：270校
(小113,中107,高37,特13)

H27：299校
(小141,中107,高37,特14)
※うち2中学校に週5日配置
※うち小中連携配置2中学校区

拡 **スクールソーシャルワーカーの配置拡充【人権教育課：76,583千円】**

学校と福祉が連携して児童生徒が抱える問題を解決・支援していく体制の整備を図るため、スクールソーシャルワーカーの市町村への配置を拡充するとともに、新たに不登校、中途退学率、奨学給付金受給率等の高い高等学校への配置を行う

H26：42人
(25市町村,3県立中)

H27：50人
(27市町村,3県立中,
5県立高校,1特支)

教育費負担の軽減

学びの
セーフティネット

施設型・地域型保育給付にかかる利用者負担の軽減【幼保支援課】

子ども・子育て支援新制度における保育所等の利用者について、母子世帯等、在宅障害児のいる世帯、その他市町村長が認めた世帯については保育料の軽減措置を実施する

拡 **高等学校等就学支援金事業【高等学校課：1,222,587千円】**

低所得世帯の教育費負担の軽減を図るため、授業料支援のための就学支援金制度と授業料以外の教育費支援のための奨学給付金制度を実施する

H26支給対象：1学年 → H27支給対象：1・2学年

高等学校等奨学金の貸与【高等学校課：409,500千円】

基本的な生活習慣定着への支援

健やかな
心とからだ

NEW **基本的な生活習慣向上事業【幼保支援課：4,227千円】**

幼児期から望ましい生活習慣を確立するために、パンフレットを作成し、保育所等で学習会を実施する

NEW **「早ね早おき朝ごはん」県民運動の推進【生涯学習課：3,500千円】**

キャラバン隊を結成し、保育所等や学校の行事、地域のイベント等を巡回して啓発活動を行い、「早ね早おき朝ごはん」県民運動を推進する

子どものネット問題への対策【人権教育課：2,649千円】

携帯電話・スマートフォン等の利用実態調査、情報モラル教育や保護者への啓発リーフレットの作成・配布



©やなせたかし

地域と学校が総ぐるみで子どもたちを育む取組

事務局各課

ユニバーサルデザインによる授業改善や、開発的な生徒指導など、課題解決型の効果的な取組を県下に普及させるべく拡充させるとともに、地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制づくりを推進することで、地域と学校が総ぐるみで子どもたちを育む取組の定着を図ります。

効果的な課題解決型の取組を県下全域に普及

⇒各校が学校経営計画に位置付け

ユニバーサルデザインによる授業改善
誰もが「わかる!」「できる!」

学校経営計画に基づく
学力向上(全小・中学校)

開発的な生徒指導
内在する力や可能性を引き出す!

校種間連携

校種間連携

校種間連携

- ・放課後等の学習支援
- ・土曜日の教育支援活動
- ・防災活動

- ・安全・安心な居場所
- ・体験活動
- ・子どもの見守り など

学校支援地域本部

放課後子ども総合プラン

地域住民の参画

(保護者、地域のスポーツ・文化団体、学生、退職者、様々な資格・経験・技能を持つ人 など)

- ・公開授業、実践発表(研究発表)
 - ・悉皆研修
 - ・実践事例・活用事例集
- などにより取組の成果、課題を発信

◆ **拡** 学校支援地域コミュニティ活性化事業【生涯学習課：41,634千円】

「学校支援地域本部」による地域ぐるみの学校支援活動
地域による教育支援活動を通じて更なる学校教育の充実と地域全体の教育力の向上を図る

H26：19市町村35支援本部 75校
→H27：22市町村40支援本部 84校

◆ **拡** 放課後子ども総合プラン【生涯学習課：546,021千円】

放課後等に子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の多くの方々の参画を得て、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供するとともに、それらの居場所を活用した「放課後学びの場」で子どもたちの学びを支援

H26：児童クラブ67、子ども教室(小学102、中学30)
→H27：児童クラブ72、子ども教室(小学106、中学29)

◆ **拡** 地域をつなぐ!子どもが伸びる!ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト【特別支援教育課：8,779千円】

- ・中学校区において、配慮を要する子どもを保幼小中が連携し確実に「つなぐ」
- ・すべての子どもが「わかる」「できる」ユニバーサルデザインの授業実践の普及を図る

H26：東部・中部・西部各1地区 計3地区
⇒H27：東部・西部各1地区、中部2地区 計4地区(フォロー1地区)

◆ **拡** 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業【人権教育課：8,204千円】

開発的な生徒指導(子どもに内在する力や可能性を引き出す生徒指導)に組織的に取り組めるよう推進校を重点的に支援し、その取組、成果を県下へ普及させる
H27はこれまでの成果を小学校へ普及させるため、小中連携推進校を指定し、9年間を通した組織的な生徒指導推進体制の確立を目指す

○志育成型学校活性化事業：推進校11中学校

NEW ○未来にかがやく子ども育成型学校連携事業：小中連携推進校2中学校区

高知県の将来を担う子どもたちの“命を守り、命をつなぐ”ための 学校等における南海トラフ地震対策

学校安全対策課ほか

H27見積：6,249,479千円
(H26当初：6,168,295千円)

学校等の施設内での安全を確保するための 学校施設等の耐震化等の促進

H27見積：6,163,485千円
(H26当初：6,079,059千円)

- ① 県立学校の耐震化促進**【学校安全対策課：3,921,042千円】
 - ・ 県立学校施設の耐震化 * 県立学校：平成27年度末耐震化完了予定
 - ・ 県立学校の非構造部材（吊り天井・外壁）の耐震化
- ② 公立小中学校の耐震化促進**【学校安全対策課：233,480千円】
 - ・ 耐震等工事に対する国庫補助制度への上乗せ補助（県単独補助）
 - * 公立小中学校《目標》平成27年度末耐震化率：96.4%
 - * 耐震診断は平成26年度交付決定分で事業終了
- ③ 保育所・幼稚園の耐震化促進**【幼保支援課：696,576千円】
 - ・ 耐震診断に対する補助 ・ 耐震工事に対する補助
 - * 保育所・幼稚園《目標》平成27年度末耐震化率：92.0%
- ④ 保育所・幼稚園等の安全確保対策の促進**【幼保支援課：676,486千円】
 - ・ 高台移転及び高層化のための検討に要する経費に対する補助（県単独補助）
 - ・ 高台移転及び高層化に伴う施設整備への補助（県単独補助）【668,162千円】
室戸市ほか2町の保育所に対して補助を行う
 - ・ 窓ガラス飛散防止フィルムの施工に対する補助（県単独補助）
 - ・ 乳幼児の避難車購入に対する補助（県単独補助）
- ⑤ 青少年教育施設の安全確保**【生涯学習課：630,236千円】
 - ・ 青少年センター改築工事 等
- ⑥ 文化財の防災対策**【文化財課：958千円】
 - ・ 建築物や美術工芸品等の地震防災対策の推進
- NEW ⑦ 放課後子ども教室等の安全対策**【生涯学習課：4,707千円】（県単独補助）
 - ・ 放課後子ども教室等におけるヘルメット等の整備、防災出前講座の実施



被災後安心して学校で避難生活ができるようにするための 県立学校への食料・水等の備蓄

H27見積：68,048千円
(H26当初：69,781千円)

- ・ 学校で被災後、児童生徒が安全に帰宅できることが確認できるまでの間(3～5日)に必要となる食料等の備蓄を更新する
- ・ 長期浸水区域の学校に緊急時移動用ボートや災害用マット等を整備する

「自分の命は自分で守る」「他者や社会の安全に貢献できる」ようになるための 防災教育の徹底

H27見積：17,946千円
(H26当初：19,455千円)

学校を中心とした取組 【学校安全対策課】

- ① 防災教育研修会**【1,614千円】
 - ・ 安全教育プログラムに基づく指導方法等や先進事例等を伝えることにより、学校の危機管理能力・防災力を高める
 - * 学校悉皆研修（県内3か所で開催：東部・中部2日・西部）
- ② 防災教育指導事業**【4,564千円】
 - ・ 防災学習教材「南海地震に備えちよき」改訂
 - ・ 安全教育プログラムの徹底 等
- ③ 実践的防災教育推進事業**【4,789千円】
 - ・ 緊急地震速報等を活用した避難訓練や公開授業等の先進的・実践的な防災教育を行い、取組内容を発信する
 - * 12校で実施予定
- ④ 学校防災アドバイザー派遣事業**【1,833千円】
 - ・ 学校等に学校防災アドバイザーを派遣し、避難経路や避難場所等の点検や防災学習を実施する * 100校に派遣予定
- ⑤ 防災キャンプ推進事業**【1,600千円】
 - ・ 地域住民や保護者とともに学校等で避難生活を体験する
 - * 4地域で実施予定
- NEW ⑥ 実践訓練研修の実施**【2,102千円】
 - ・ 県立学校等の教職員や生徒を対象とした避難所運営訓練（HUG）等の実施 * 8回実施予定



高知県防災キャラクター
©やなせたかし

保育所・幼稚園等への取組 【幼保支援課】

南海トラフ地震対策研修等事業【1,444千円】

- ・ 防災教育等研修会の開催
- ・ 園児の安全能力の育成に係る研修や各園の防災マニュアルの検証・情報交換等を行い、保育所・幼稚園等の防災力の向上を図る（3か所で開催予定）



つなみまん



学校安全対策チェックリスト等による
学校等の取組状況 確認・指導

子どもたちの命を守る！
1人の犠牲者も出さない！

子どもたちの命をつなぐ！

平成26年度から10年間の県立高等学校再編振興計画 (平成26年10月策定)

基本的な考え方を実現するために (H27要求内容)



再編振興計画の基本的な考え方

- 1 キャリア教育の充実
- 2 生徒や保護者の期待に応える教育活動の推進
- 3 生徒数の減少に対応するための適正な学校規模の維持と適切な配置
- 4 南海トラフ地震への対策の推進
- 5 次代を担う人材を育てる教育環境の整備

- 高校生の志を応援する事業** 93,535千円 (一) 93,535千円
高知のキャリア教育の3つの柱である「学力向上」「基本的な生活習慣の確立」「社会性の育成」のうち「学力向上」に重点化して、「生徒の学習支援」「教員の指導力の向上」「学校の学習支援体制の充実」を図り、生徒の高い志の実現を支援する。
- グローバル教育推進事業** 106,137千円 (一) 99,928千円
グローバルな課題について、生徒自ら課題研究に取り組むことで、論理的思考や判断力、表現力を身につけるとともに、英語運用能力の向上を図り、将来グローバル人材として活躍できる資質を育成する。
- 施設整備費** 109,327千円 (一) 109,327千円 (債務負担84,249千円 (一) 21,249千円))
前期実施計画において、統合を実施する学校に必要な施設整備を行う。

前期実施計画における主な取組

県立高等学校の統合

新中高一貫教育校

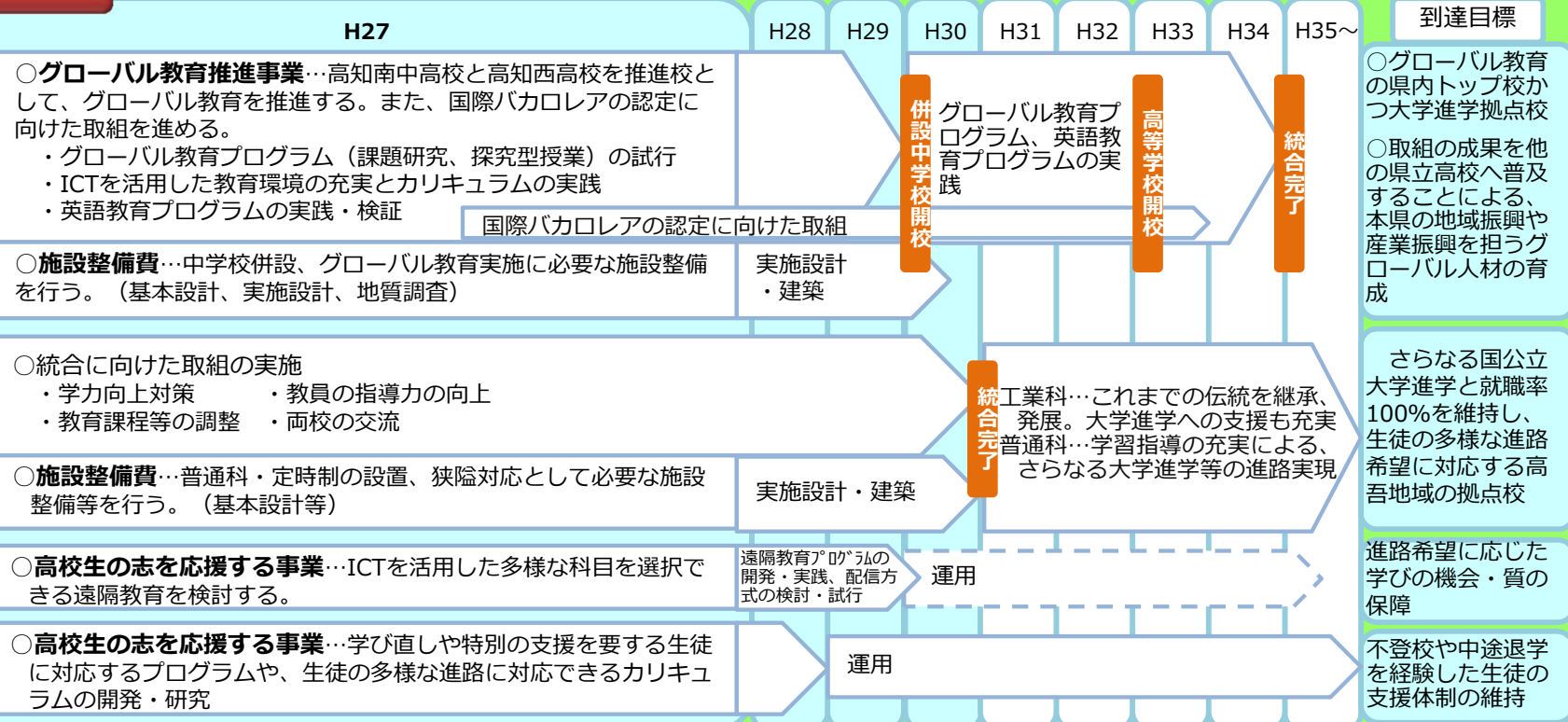
高知南中高校と高知西高校を統合し、現在の高知西高校の敷地に新たな中高一貫教育校を設置する。(平成35年度統合完了)

高吾地域拠点校

須崎工業高校と須崎高校を統合し、現在の須崎工業高校の敷地に高吾地域の拠点校を設置する。(平成31年度統合完了)

中山間地域の学校の取組

学び直しの機能を持った学校の取組



＜見直し(廃止)事業＞

- ◆**競技スポーツ選手育成強化事業(スポーツ健康教育課)**
80,052千円[うち(一)80,052千円]
- 事業概要:**国民体育大会をはじめ各種全国大会において優秀な成績を収めるため、強化事業を展開する。また、安定的な成績が残せるようジュニア期から系統だった選手の育成強化を図る。
- これまでの成果:**各競技団体において、ジュニアから一般まで各年代ごとに年間を通した取組が一定着した。
- 廃止理由:**各年代ごとの取組は定着したが、中長期的な計画を踏まえたジュニアから一般までの一貫した指導体制がとられていない競技団体が多いことから、安定して上位入賞を狙うことができず、競技成績が低迷しているため。

- ◆**スポーツ医科学健康体力増進事業(スポーツ健康教育課)**
3,400千円[うち(一)3,400千円]
- 事業概要:**国体選手、強化指定選手等の競技スポーツ選手を対象にスポーツ医・科学の専門的な健康チェックや体力測定を踏まえた助言・指導を行うとともに、指導者に対するスポーツ医・科学的な研修会を実施し、競技力向上及び指導力の向上を図る。
- これまでの成果:**国体選手のメディカルチェックの受診率は9割を超え、指導者研修の受講者は増加傾向にあるなど、スポーツ医・科学を活用することの必要性は選手や指導者に理解されつつある。
- 廃止理由:**本事業におけるメディカルチェックや専門体力測定は、全ての競技団体を対象としているため、各チームや個人に対するサポート内容が限定的になり、競技力向上に十分に繋がっていないため。

- ◆**スポーツエキスパート活用事業(スポーツ健康教育課)**
1,941千円[うち(一)1,941千円]
- 事業概要:**県立高等学校の運動部活動で専門的指導ができない部活動に対して外部指導者を派遣し、指導の充実を図る。
- これまでの成果:**専門的指導者を派遣することで、競技力や技能の向上につなげることができた。
- 見直し理由:**運動部活動のさらなる指導の充実に向けて、生徒・保護者のニーズに応える取組を再構築する。

見直し

New

＜課題解決先進枠等＞

- ◆**競技スポーツ選手育成強化事業(スポーツ健康教育課)**
91,925千円[うち(一)91,925千円]
- 事業概要:**競技別に作成する育成プログラムをもとに、全国的な視点で助言することができるトータルアドバイザーの指導により、ジュニアから系統だった育成強化事業や国内トップの成績が期待される選手の強化を計画的に行う。また、年間を通して継続した指導者研修講座を開催し、指導者の資質向上と組織体制の充実を図る。
- 解決すべき課題:**各競技団体の育成強化事業では、各年代ごとに年間を通した取組が定着し、一部の競技団体では競技力の向上が見られるが、多くはジュニアから一般までの一貫した指導計画が立てられておらず、また、中長期的な計画に沿った強化体制がとられていないため、安定して全国で入賞を狙うことが難しい状況である。
- 見込まれる成果:**専門的な知見と経験を有するトータルアドバイザーの助言を受け、各競技団体が一貫指導プログラムを作成し、計画的、戦略的な育成強化に取り組むことで、安定した競技成績を残すことができる。また、県内トップ選手を重点的に育成・強化することにより、国内トップレベルの選手が輩出される。

- ◆**スポーツトータルサポート事業(スポーツ健康教育課)**
4,809千円[うち(一)4,809千円]
- 事業概要:**データを活用した戦略指導、体力測定、トレーニング指導、栄養指導など科学的なデータや研究成果を活用したサポートをターゲットを絞って重点的に行うとともに、スポーツ医・科学等の専門的な内容を中心とした指導者研修講座や指導者に対する出張トレーニング指導を実施する。
- 解決すべき課題:**スポーツ医・科学のデータや情報の活用必要性が指導者や選手に理解されつつあるものの、データや情報が適切なタイミングで円滑にフィードバックできる体制が構築されていないため、各チームや個人の活動に生かされていない。
- 見込まれる成果:**最新のデータや研究の成果を効果的に活用することにより、個々の体力レベルや習熟度に応じたトレーニングや練習が展開され、競技力が向上する。また、選手や指導者のスポーツ医・科学に対する理解が高まり、効果的なトレーニングや練習が実践されるとともに、メンタルトレーニングや栄養指導により、選手のコンディションが充実し、スポーツ傷害の予防に繋がる。

- ◆**運動部活動競技力向上サポート事業(スポーツ健康教育課)**
10,929千円[うち(一)10,929千円]
- 事業概要:**公立中学校及び県立高等学校において、専門的な指導力を持った外部人材を運動部に派遣することで、生徒の競技力向上と顧問との役割を明確にした効果的な運営を図りながら、運動部活動の充実を図る。
- 解決すべき課題:**運動部活動の顧問が専門以外の競技を担当することがあり、競技力向上を求める生徒や保護者の要望に十分応えられていない状況がある。また、教育課題が多くなり、教員の負担が増すなかで、運動部活動の充実が十分図れていない状況がある。
- 見込まれる成果:**顧問と外部指導者が連携して、運動部活動を実施することによって、生徒の運動・スポーツに対する意欲が高まり、体力・競技力向上や部活動の活性化に繋がる。また、学校教育目標を具現化するための全体計画を作成し運営するなど、効果的な運動部活動を実施することで、「知」「徳」「体」の調和のとれた生徒の育成に繋がる。